



校長室だより

丹波市立進修小学校 2025.3.18

自律性を育む第一歩(5年生からの提案)

5年生の新企画委員会が、前の集会で、6年生が提案した「進修小学校をよりよくするために」を受けて、「ノーチャイム」を提案してくれました。

気になるところとして挙がっていた「時間を守らない」「そうじをしていない人がいる」に対して、なぜ「時間を守らない」「そうじをしない」ののだろうかという問いから始まり、その理由を自分たちや先生とも一緒に考えて話し合いました。その「なぜ」に対して、チャイムに頼りすぎているのではないかという考察が出ていました。そして、その解決策が「チャイムをなくして、時計を見て行動しよう」という方法になりました。5年生の新企画委員会が考え、スライドを作って、全校生に伝えました。



全校生に伝える前に、まずは5年生で話し合いました。チャイムがなくて、開始時刻に間に合うように動けるのだろうかという不安の声もある中、2年前までは、ノーチャイムだったはず、できていたことができなくなるのはおかしい、だからまずは5年生から見本を見せて、時計を見て動けるようにしようということになりました。4年生以下の人たちはとても静かに聞いていました。どこまで納得できたかがまだわからないので、4月になってからまた企画委員会や5年生で話し合っ、提案していきたいと思います。

よく、自律する力をつけるという話を子どもたちにも先生方にもしています。

「自立」と「自律」の違いについて考えたことがありますか？

自立性とは、他に頼らず独り立ちすること

- ・他者に頼ることなく物事を行えること
- ・他の人に依存することなく、自分で考えて選択や行動ができる

自律性とは、定めたルールに従って行動すること

- ・自分の意志を持ち、自ら定めたルールに従って行動すること
- ・自身で調整を行ったり問題を解決したりすること。

なるほどそうだと、子どもたち自身が納得したとき、次の行動は「自律的な行動」になります。

なぜ→どうしたらいいか→対話→納得解→自律する力

今回のできごとは、自律性が身についたとまでは、言えませんが、自律の力をつける第一歩になったと感じています。これからも、子どもたちの意見や思いを大事にしながら、「なぜ」を大事にして、納得解をみつけていきたいです。